※文字の大きさは Meiryo UI ／12 ポイント以上とし，行間･文字間，上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図，写真，表，グラフなどは，（写真１）（表１）などと文中に記載し，右ページに（写真１）（表１）などと表記の上，貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も，必ずＡ３片面１枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは５MB 以下としてください。

※事務局記入欄
No. 107

【様式２】

エントリー学校名：

宮城県遠田郡美里町立不動堂中学校

活動名：

目指せ，チェンジメーカー！～学校教育目標づくりを通して～

解決すべき課題：

・学校教育目標は代々あるもの，もしくは校長がつくるものという意識から，教職員，生徒，保護者，地域と共有するという意識を高めることが必要。
・前例踏襲を打破し，新しいことに挑戦しようとする意識を教職員がもつこと。
・これからの時代を生き抜く生徒に必要な力を身に付けさせるために，教職員が主体的になること。

目標･方針：

・各教育活動の目的を第一に内容を決める。（「何のため」の活動かを問い直す）
・学校教育目標づくりを通して，当事者意識を高める。・スクラップ＆ビルドのスクラップを意識する。

活動内容：

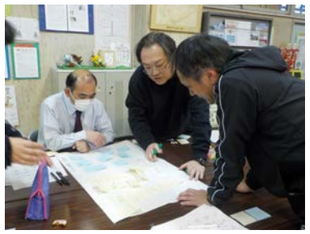
1　ワークショップによる学校教育目標の設定（H30.12 月）〈グループ→全体〉
2　職員評価シートを活用した意識の醸成〈R1.５月～２月〉〈個人〉
3　業務改善のためのアンケートの実施と話合い（R1.８月）〈個人→全体〉
4　１年間の振り返りアンケートの実施（R2.2 月）〈個人→全体〉

活動の成果：

1　ワークショップの成果（検証方法：アンケート）（写真１，２）
有効だった　（１３名中１３名）→当事者意識や学校への愛着が高まった。
・既存の目標ではなく，自分たちで，生徒の現状を考えてつくり上げたものだったので愛着がわいた。
・教職員全員で目標をつくるという意識が醸成され，「自分の学校」という思いが強くなった。
○学校の教育目標は「自律」「豊かな心」「創造」に決定。（図１）　グランドデザイン策定（図２）
2　職員評価シート（図２，３）
・各教育活動から，各自，特に取組みたい項目を選ぶ。その評価指標を参考に自己目標を設定する。そのことで，学校教育目標達成のためにすべきことが意識された。
3　業務改善
・アンケートで意見を出し，話合いをすることで，教育活動の新しいアイディアや改善点，スクラップするものが明らかになった，自分たちで「変えられる」ことを実感した。
改善点,新しい取組
○学校日誌，保健日誌の電子化（３学期（R1.1 月）より実施）
○教職員への告知の電子化（TV モニターを活用しペーパーレス化）○月１回の定時退勤日の設定
4　１年間の振り返り（図２，４，５）
・学校教育目標達成度をはかるため，「めざす教師像」について，自己評価を行った。

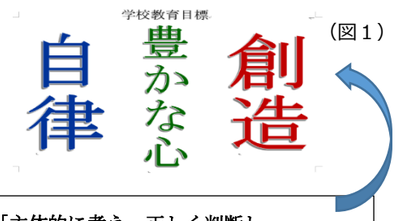
アピールポイント（アイディアや工夫）：

当事者意識を高める取組
☆ワークショップで作る学校教育目標に自分たちが「つくる」という実感がもてる。
☆業務改善アンケート，話合いにより自分たちで「変えられる」という実感がもてる。



（写真１）

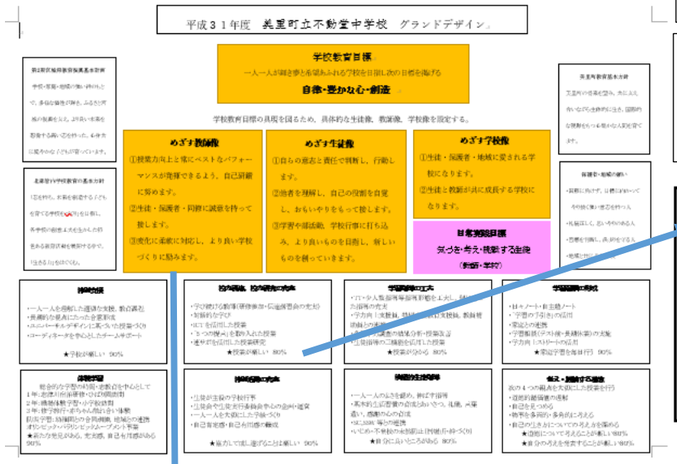
（写真２）



（図１）

「主体的に考え，正しく判断し，
粘り強く行動する生徒の育成」（H21～30）

思わぬ効果！３つの言葉にしたことで，教職員だけでなく，生徒，保護者，地域の方も覚えやすくなった。



（図２）

校内研修，校内研究の充実

・学び続ける教師（研修参加・伝達講習会の充実）
・対話的な学び
・ICT を活用した授業
・「５つの提言」を取り入れた授業
・連サポを活用した授業研究
★授業が楽しい　80%

（図３）

この評価指標を自己目標の参考にする

めざす教師像

①授業力向上と常にベストなパフォーマンスが発揮できるよう，自己研鑽に努めます。
②生徒・保護者・同僚に誠意を持って接します。
③変化に柔軟に対応し，より良い学校づくりに励みます。

【達成度】

	50%	60%	70%	75%	80%	85%	90%	100%
①	5	1	3	1	3	0	0	0
②	2	2	3	1	2	1	2	1
③	5	3	1	1	1	0	0	2

（図４）

③についての達成度の理由

（図５）

・これまでのやり方に固執することなく対応できたと思う（達成度 100%，20 代教員）
・全体を見るようにしている。担当学年以外の学年に対してもよく観察し対応してきた（75%，50 代教員）
・古い考え方をしっかりと変えていかなければならない。しかし，古いものにもよさがある。（50%，50 代教員）